

会員総会議事録¹

報告年度 2020 年 日独産業協会

日時	2021 年 4 月 26 日 13:00～14:30(ドイツ時間)
開催地	オンライン (Zoom)
司会・進行	ゲアハルト・ヴィースホイ (理事長)
議事録作成者	アンネ・ポムゼル (事務局長)
選挙進行役	マリア・ドイツ (イベント・コーディネーション)
参加者	DJW 会員ならびに招待者計 76 名 (参加者のリストは事務局にて保管)
議題	議題 1 歓迎の挨拶、正式な会議招集の確認 および議題紹介 議題 2 2020 年度分の会員総会議事録 の承認 (ドイツ語) 議題 3 2020 年活動報告および財務報告 議題 4 会計・出納監査人からの報告書 議題 5 理事会および事務局の活動状況に係る承認 議題 6 今後の取組みおよび計画 議題 7 DJW の定款および会費規約の改訂に関する提案(会員総会招待状と共に送付済みのテキスト形式で添付) 議題 8 理事会会員選挙(送付済み会員総会招待状と共に送付済みの立候補者のプレゼンテーション添付) 議題 9 その他

議題 1

歓迎の挨拶、正式な会議招集の確認 および議題紹介

DJW 理事長であるゲアハルト・ヴィースホイ氏が参加者を歓迎し、デジタル形式による会員総会開催により今年も多く会員からご参加いただいたことに感謝。冒頭で同氏は、今年 2021 年に迎えた各記念事項(日独外交関係樹立 160 周年、当協会設立 35 周年ならびに非営利協会登録 20 周年、ゲアハルト・ヴィースホイ氏の DJW 理事長就任 10 周年)を喜び、会員総会を開催した。さらに、同氏は当協会創設者、特に名誉会長のルプレヒト・フォン・ラン氏の長年にわたる献身的な活動に感謝を述べた。

さらにヴィースホイ氏は開催に際して、今回投票が行われる定款改正案に言及し、定款の内容は現状に合わせた内容に変更されるが、その精神は変わらないことを強調。また、同氏は新体制とな

¹ドイツ語からの翻訳

った DJW 運営チームを紹介し、13 年間当協会を率いてきたユリア・ミュンヒ氏の素晴らしい活動と協力に感謝を述べた。2020 年 10 月、アンネ・ポムゼル氏が事務局長の職を引き継いだことを受け、小野エリザ氏、吉田一哉氏、アーク・沙羅氏、マリア・ドイツ氏とともに更なる発展と活動を祈念した。

続いてアンネ・ポムゼル氏が DJW 運営チームを代表して参加者を歓迎し、会員の皆様に事前に送付された資料を紹介。デジタル形式による会員総会開催にあたって、全ての文書は 2021 年 4 月 9 日に会員総会招待状とともに送付（2021 年 DJW 会員総会のご案内、定款および会費規約の改訂案、DJW 理事会候補者の紹介）しているほか、当協会ウェブサイト上で検索できるようになっている（[2020 年度会員総会議事録](#)、[2020 年活動報告および財務報告](#)）。尚、デジタル形式による会員総会開催については、ドイツ連邦司法・消費者保護省の[新型コロナ感染の影響を緩和するための企業・協同組合・協会・財団に関する拡大措置](#)においてその根拠が確認されていると説明した。

次にポムゼル氏が、本会員総会での承認投票・選挙投票実施に際しては、オンライン投票システム「POLYAS」を活用することにより、匿名・無記名を保証したうえで実施が可能になっている旨を説明。さらに、POLYAS の使用に際した本会員総会での進行手順について説明した。また、続けてマリア・ドイツ氏が同システム使用実務面での詳細説明を行った。

次にヴィースホイ氏は、本会員総会へのゲストの参加について言及し、今回出席の会員にゲストの参加に対し賛成か否かをまず最初の投票にて確認。その結果、出席した会員のうち 52 名が「賛成」、1 名が「反対」、1 名が「棄権」の票を投じたため、1 名の反対票を尊重し、ゲストが総会から退出した（注 1 参照）。さらに、同氏は本総会が規定通り、また形式・期限ともに適切な形で招集されたことを確認。議題の変更要求はなく、出席した会員によるデジタル投票の結果、53 票の賛成を得て、全会一致で採択された。

（注 1）2021 年 6 月追記：今次会員総会で発生したこの状況に関し、後日、協会法を専門とする弁護士に相談して判断を仰いだところ、ゲストの参加に関する決定権は招集機関にのみあるとのことでした。総会におけるゲストの出席は、総会の冒頭にて発表しなければならず、ゲストが議論に参加しない場合は、参加のための総会での正式な決定は必要ありません。ゲストがディスカッションに参加する場合は、出席メンバーの過半数の同意が必要とのことでした。これに伴い、ゲストの方々にお掛けしたご不快、ご迷惑につき、心よりお詫び申し上げます。

議題 2

2020 年度分の会員総会議事録の承認

メールにて送付された前回の会員総会（2020 年 6 月 15 日オンライン開催）の議事録が、本総会に参加し、投票権を持つ会員の全会一致（含・棄権者 3 名）で承認された。

議題 3

2020 年活動報告および財務報告

ポムゼル氏が、事前にオンラインで公開済みの「[2020 年度活動報告および財務報告](#)」について言及。尚、この書面では、DJW の全ての分野における活動が包括的に紹介されており、自由に参照することができる（添付資料 1「2020 年活動報告書」を参照）。ヴィースホイ氏が、2020 年も Squads で非常に良い結果が得られたこと、さらに DJW と経済同友会間でも緊密な連携が始まったことを追加した。

活動年度 2020 年は、35,800 ユーロの黒字の結果となった。ポムゼル氏が、歳入と歳出両面について詳細な説明を実施し、その際特に 2018 年以前から未払いとなっており、今後の回収が見込め

ない会費を一括償却したことを強調した。該当する(かつての)会員に対し、当協会からはこれまでに少なくとも2回書面による督促を行ったものの、依然支払手続きがなされない、または連絡が取れない状態にある先を対象としたものである。これに伴い、ポムゼル氏は、当協会のデータベースを最新の状態に保つべく、住所や連絡先に変更があった場合に速やかに当協会事務局宛連絡して欲しい旨、全会員に要請した。ヴィースホイ氏は、当協会の財務状況は非常に良好であり、長期的な財務計画も確固たるものであると説明。また、非営利団体としての性格上、当協会が利益を追求してはいけないことから、赤字金額についてはこれまでの積立金で補う一方、年度末の黒字額については厳正にチェックされる必要があることも加えて述べた。

次にデトレフ・ラングマン氏から、歳入項目の「その他(協力費)」はどのような内容であるのか、また、今般の収支内容は日本の駐在事務所の活動をも含むものなのかどうかについての質問がなされた。この質問に対しポムゼル氏は、2020年の協力費は特に独日協会ニーダーラインとの協力が該当する旨を回答、共同で使用する事務所の家賃やその他共同の使用に供する設備に関し受領する歳入が含まれている旨説明した。また、今般の収支内容は日独両国で行われる全活動に係る歳入・歳出全般を含むものである旨、回答した。

そしてポムゼル氏は、現在の活動プログラムと(協賛)会員の構成について説明し、会員の方々に寄付して下さる方々からの理念、および資金面での支援に対し謝意を表明、これらの支援がなければ豊富な活動プログラムの実現や日本の事務所の維持は不可能であると思われる旨述べられた。

議題 4

会計・出納監査人からの報告書

2020年6月15日に開催されたDJW会員総会で会計・出納監査人に選出されたサンドラ・ディーデリクス氏(プライスウォーターハウスクーパース社)は、2021年4月に、シュノーブス・ヘルムホルト・ヴァルデマン(Schnorbus Helmholtz Wardemann PartGmbH, Kanalstraße 2, 41460 Neuss)が作成した活動年度2020年のDJW年次財務諸表を受領し、また、これに関連する資料を無作為に抽出し調査を実施した。その結果、当協会が行った全ての支出が、法令の規定を遵守し適切に行われていたことを確認した(事前に書面にて確認実施)。これについて異議はなかった(添付資料2「会計・出納監査人による会計年度2020年の結果調書」を参照)。

これにより同氏は、会員総会出席者に対し報告年度2020年に係る理事会および事務局の活動状況の承認を推薦した。

続けてポムゼル氏が、当協会理事会を代表し、ディーデリクス氏の無償でのご協力と綿密な確認作業、そして総会に際して行われた事前の入念な情報交換に対し謝意を表明した。

議題 5

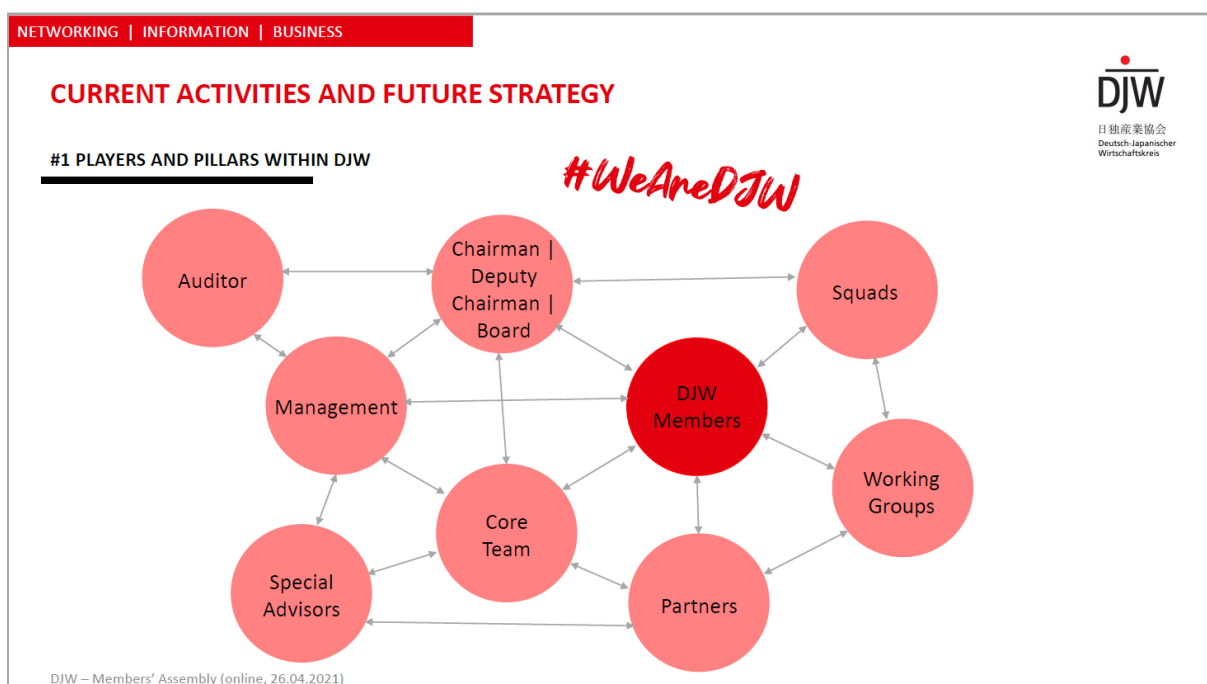
理事会および事務局の活動状況に係る承認

会計・出納に関する報告書の中で、ディーデリクス氏は活動年度2020年に係る理事会および事務局の活動状況の承認の発議を行った。本会員総会では、この発議が4票の棄権者を含む全会一致で承認された。ヴィースホイ氏、ミュンヒ氏、そしてポムゼル氏は、理事会と事務局運営チームを代表し、会員の皆様からの信頼に感謝の意を述べた。

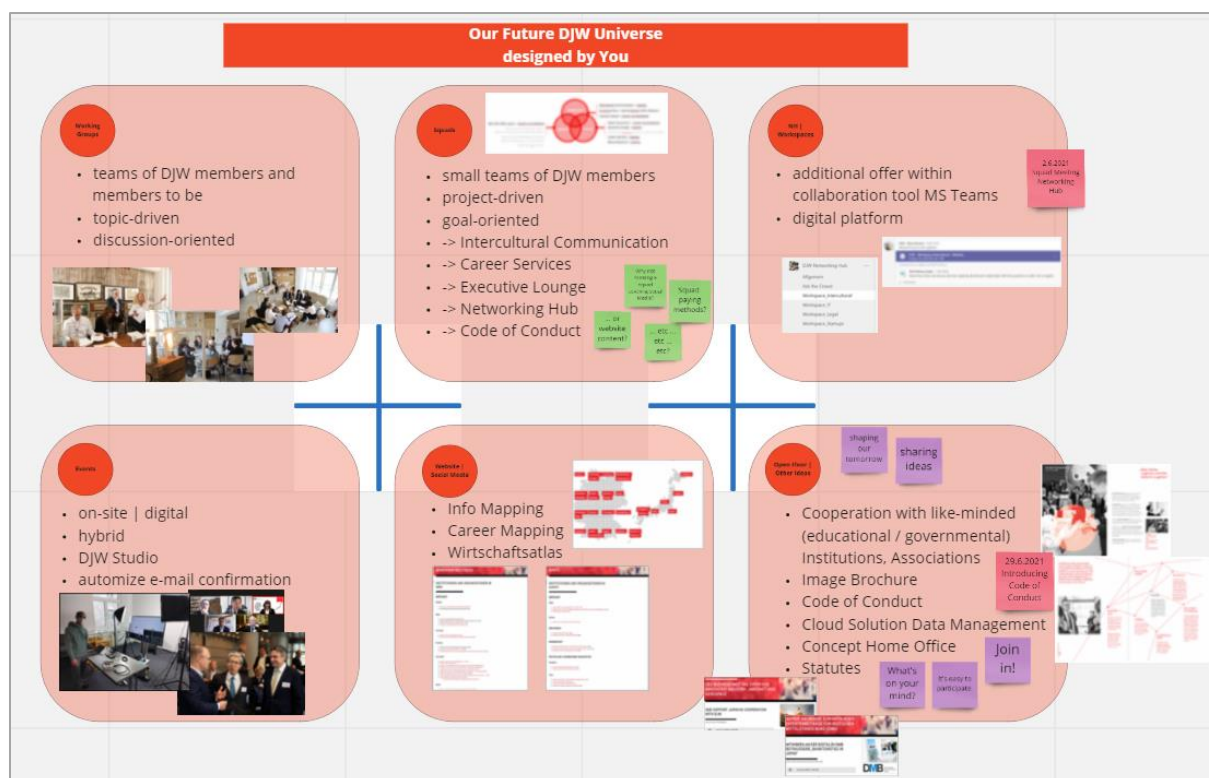
議題 6

今後の取組みおよび計画

ポムゼル氏は、事前に寄せられた様々な要望に基づき、当協会のネットワーク、参加者、そしてパートナーについて説明し、また、全てのコンタクトと情報網を、関心のある方々は誰でも自由に利用することができることを強調した。また、DJW の魅力とサービスについてまとめ、続いて各スクワッド「Intercultural Competence」(ロルフ・シュルンツェ教授)、「Career Services」(クリストファー・ヘッカー氏)、「Executive Lounge」(マンフレッド・シュテルン氏)からの活動報告、DJW「Networking Hub」に関する概要の報告を行い、2021年6月に開催のスクワッド・ミーティングへの参加を会員に促した。さらに、ドイツにおける日本の投資と経済関連の企業活動の数字をまとめた「日独経済アトラス」というプロジェクトも紹介された(ビョルン・アイヒシュテット)。



© DJW



© DJW


議題 7

DJW の定款および会費規約の改訂に関する提案

ヴィースホイ氏は、DJW の定款が協会創立時に基本的な指標として、先を見通した内容にて作成されたものである旨説明し、改訂案でも当初から続く定款の基本的な方向性が維持されていることを強調した。特に、未納会費に関し、定款の内容を改訂することでより迅速に督促することができるようになること、また、デジタル形式による会員総会の開催についての規定も明文化されていることが説明された。(添付資料 3「2021 年日独産業協会 (DJW) 会員総会のご案内」および添付資料 4「定款および会費規約の改訂に関する提案」を参照)。尚、この改訂案については、定款変更に向けて実施した準備作業において弁護士、および当協会理事会にても事前に内容の確認を行った。会員総会のご案内送付後、会員各位からの内容に関する変更発議はなかった。ポムゼル氏は、事務局の重要修正事項としての改訂案 (§5 の 2 項が該当) を読み上げた。「[...] デジタル形式による会員総会は、対面式による会員総会と同等の価値を持つ。ただし、当協会解散の際にはデジタル形式での会員総会実施は認められない。デジタル形式による会員総会は、ビデオ会議にて開催される。この場合、会員は個別に電子招待状とアクセス権限を受け取る。デジタル形式による会員総会に関するその他の条件は総会に関する会則に準拠する。[...]」

今回提案がなされた日独産業協会定款ならびに会費規約の変更は、賛成 49 票、棄権 4 票の全会一致で採択された。この結果を受け、ヴィースホイ氏は、会員からの前向きな決定に感謝を述べた。

DJW Mitgliederversammlung 2021 | 日独産業協会 2021年度会員総会



日独産業協会
Deutsch-Japanischer Wirtschaftskreis

TOP 7 | 項目 7 Vorschlag zur Änderung der DJW-Satzung sowie der Beitragsordnung | DJWの定款および会費規約の改訂に関する提案 - Results

Stimmen Sie dem Vorschlag zur Änderung der DJW-Satzung sowie der Beitragsordnung zu? | DJWの定款および会費規約の改訂に賛成しますか?

Voters: 87 Voted: 53 Turnout: 60.91% Invalid due to violation of the election rules: 0

Ja 賛成	49
Nein 反対	0
Enthaltung 棄権	4

POLYAS
Imprint Data privacy policy

議題 8

理事会会員選挙

DJW 理事会および会計・出納監査人の選挙候補者の詳細については、本総会ご案内とともに全ての会員に向けて送付している(添付資料 5「DJW 理事会および会計・出納監査人候補者リスト」を参照)。

ヴィースホイ氏は DJW 理事会メンバーを退任するミュンヒ氏と渡邊全佳氏(ジェトロ・デュッセルドルフ事務所前所長)に対し感謝の意を述べた。また、シュテファン・マイアー氏(ドイツ国際政治安全保障研究所所長、科学政策財団(SWP)事務局長)、神余隆博氏(関西学院大学理事・教授、元大使)、筒井義信氏(日本生命保険相互会社代表取締役会長)の3名は任期満了となるが、さらなる任期継続の意向を示している。加えて、ニコル・バステアン氏(Handelsblatt GmbH 外国部部長)と植田大氏(ジェトロ・デュッセルドルフ事務所所長)が DJW 理事会メンバーに立候補した。

選挙は投票結果(一括選挙への賛成 46 票、個別投票への賛成 7 票)より、個別投票にて行われることが決定した。

バステアン氏(賛成 49 票、反対 1 票、棄権 4 票)と植田氏(賛成 53 票)が理事会メンバーに選出された。また、マイアー氏(賛成 42 票、反対 1 票、棄権 8 票)、神余氏(賛成 47 票、反対 0 票、棄権 4 票)、筒井氏(賛成 46 票、反対 0 票、棄権 6 票)3名とも再選された。全ての理事会メンバーからは、事前の書面にて、再選された場合は 2024 年までの任期継続につき承諾をいただいている。

会計・出納監査人としては、これまでも同役職に就いていたサンドラ・ディーデリクス氏(PricewaterhouseCoopers)が立候補した。尚、同氏のほかに候補者はなかった。投票の結果、賛成 50 票、反対 0 票、棄権 2 票で同氏が当選、さらに次の 1 年の任期で同役職に就任することを事前に書面にて承諾している。

議題 9

その他

ヴィースホイ氏とポムゼル氏は、最後に全ての会員の健康を願って 2021 年会員総会を閉会した。

2021 年 6 月 デュッセルドルフ

ゲアハルト・ヴィースホイ

DJW 理事長

アンネ・ポムゼル

DJW 事務局長

(署名入りの原本は事務局にて保管。)

添付資料

- 1) [「2020年活動報告書」](#)
- 2) 「会計・出納監査人による会計年度 2020 年の結果調書」
- 3) [「2021年日独産業協会\(DJW\)会員総会のご案内」](#)
- 4) 「定款および会費規約の改訂に関する提案」
- 5) 「DJW 理事会および会計・出納監査人候補者リスト」